

## 論文審査結果報告書

論文提出者氏名 林 泰武

学位論文題目 Development of the Removable Hygienic Prosthesis System and its Clinical Application

審査委員（主査）清水 博史 印

（副査）細川 隆司 印

（副査）北村 知昭 印

### 論文審査結果の要旨

本論文は、補綴におけるテレスコープクラウンの製作が手技的に大変困難であることを解決するため、根面アタッチメントとクリップによる可撤性二重冠（A-タイプ）、ボールアタッチメントとラバーキャップによる可撤性二重冠（B-タイプ）、およびT-ポスト合金プレートで支持する可撤性ポンティック（C-タイプ）の3種の衛生的可撤式補綴システム Removable Hygienic Prosthesis System（RHPS）を新しく考案・開発し、臨床例を供覧しつつ紹介したものである。

3種のシステムの長所として以下の事項をあげている。

1. 容易に清掃が行えるよう設計されている。
2. 根面アタッチメントとクリップ、ボールアタッチメントとラバーキャップおよびT-ポスト合金プレートにより、患者は安定した通常の咀嚼機能が営める。
3. クラウンの両端に設置したオクルーザルレストは、脆弱な歯の破折を防止するために隣接歯への咬合圧分配が可能である。
4. 長期間使用でき、残存歯のダメージがない。

本論文で紹介された3種のシステムは、優れた清掃性、機能性、安全性および最小の侵襲での適用を同時に獲得することに成功している。さらに台湾、中国、日本、米国、ドイツの5か国における特許を既に取得している。本論文は基礎的研究成果の報告といった通常の原著論文と趣を若干異にしているが、歯冠補綴や欠損補綴の臨床に対して貢献度が高く、有意義な論文であると思われる。公開審査における質疑応答にも特段の問題は認められず、指摘事項に対し適切に修正が成されたことから、今回、本審査委員会は学位論文として認めてよいものと判断した。

